

湯西川ダム・川治ダム見学会



湯西川ダム



川治ダム

今回、見学する湯西川ダムや川治ダムは、昭和22年カスリーン台風を機会に利根川水系全体の治水計画が見直しをされた際に決められた、治水対策上重要なダムです。

カスリーン台風後、決定された利根川水系の治水計画で最も重要な事項は、上流域ではダム群で、中流域では遊水地で、下流域では放水路及び河道による三つのタイプの洪水流量の役割分担が決められたことです。

湯西川ダムや川治ダムも、ハッ場ダムと同時期に同じ役割を担って決められました。特に湯西川ダムはハッ場ダムが中止になったにもかかわらず、工事が継続されこの度完成したばかりのダムです。

利根川水系の治水を知る上で下流の安全がこれら上流域の努力と協力の上で成り立っていることを実感し、さらに、江戸川や荒川下流域の安全がいかに広大な上流域の方々の犠牲の上に成り立っているのかを見ていただきたいと思います。

下記のとおり実施しますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 7月6日(日) 7:30集合
集合場所 JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)
参加費 1,000円(資料、交通費、保険料の一部として)
募集人数 45名(先着順) boumatijyuku@yahoo.co.jp 携帯 080-4006-8819

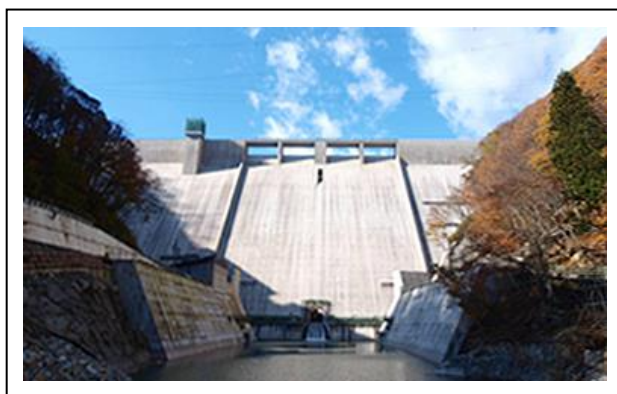
行 程 7:30 出発(集合次第出発します)
11:00 川治ダムダム到着・見学
五十里ダム・湯西川ダム見学
帰路の途中「道の駅」に寄る予定
19:00 JR新小岩駅 東北広場 到着(道路状況により流動的です。)

※昼食は各自ご持参願います。

湯西川ダム

首都圏域としての発展がめざましい鬼怒川や利根川下流域。急速な都市化・ライフスタイルの変化に伴う水需要が急増しています。この水需要に応えるとともに、流域を洪水の被害から守るために、鬼怒川上流のダム群の一つとして建設されたのが湯西川ダムです。

湯西川ダムは特定リフトにおいて効率化を進めた巡航RCD工法を採用しており、堤体コンクリート体積約100万m³に対して、実打設期間19ヶ月という短期間での施工を実現した。



川治ダム

川治ダムは、利根川総合開発の一環として鬼怒川に計画されたダムです。昭和45年に工事が始まり、昭和58年に完成したダムです。洪水による下流河川のはらんを防ぐための洪水調節、農業用水や都市用水の供給を目的につくられた国内で第4位の高さを誇る、アーチ式コンクリートダムです。川治ダムは、昭和48年に施行された水源地域対策特別措置法の適用を受けた全国で第一号のダムです。



新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

